



『

絆

分離独立 50 周年

奄美市立住用中学校

』 輝けさわやかに

風は住用中から

住用中学校校長 瀬戸口 良二

○ ヘゴと杉 奄美ならではの 並び立つ(へごとすぎ あまみならではの ならびたつ)

住用中学校の校舎北裏には斜面が迫っている。そこに 15~20m の高さで成長している杉とヘゴが立っている。杉は明らかに植林した株である。樹齢は 30~40 年くらいで幹の直径 25~35 cm の立派な木が 3 本。ヘゴは自然に孢子が飛んできて芽吹いて成長したものだろう。本土では見られない珍しい組み合わせの風景である。大切にしたい風景である。

○ ミカンの木

同じく校舎北裏の斜面にはミカンの木が 10 本ほど生きている。今年は昨年より少なめであるが実を付けている。技術の栽培の時間や放課後に生徒たちが鋏を使って収穫することができた。そのミカンは地域の方々との給食試食会にも活用できた。樹齢は 30~40 年を迎える。長い年月の間に 1 株から太い幹が 3~5 本高く伸びている。半分以上は高い所に実り、手が届かない。カラスに先を越されないように収穫していきたい。そこで脚立や柄の長さ 3m の剪定鋏(せんていばさみ)や剪定鋸(せんていのこぎり)を使って上の枝を切りつつ、収穫を試みたい。このところ、住用での平均気温が 10~13℃くらいなので収穫したミカンはほどほどの酸味と甘さがある実になっている。これからも給食のデザートに活用する予定である。ミカンの木たちに感謝したい。

○ 方言について

NHK 大河ドラマ「西郷どん」で注目したい場面がある。登場人物の方々それぞれの出身の方言を話す。国の未来を決めるようなとても大切な内容をお互いにやり取りする場面が出てくると予想される。西郷どんは、薩摩弁で多くの偉人と対話することが史実として知られている。橋本佐内(福井弁)、坂本竜馬(土佐弁)、勝海舟(江戸弁)、桂小五郎(長州弁)、岩倉具視(公家ことば)、明治天皇(宮中の言葉)などの偉人たちである。とても面白いと思う。何故、初対面で他の方言を話す人と意思疎通ができたのか? そんな視点でドラマを見てみるのもいいと思う。自分なりの視点をもった視聴を心がけたいと思う。

○ 島口と鹿児島弁と

各地の島口に違いはあるが、大よその音声的、単語的な共通性をもっている。鹿児島弁から見たとき島口(大島方言)としてのまとまりを感じる。鹿児島弁も北は出水から最南端の佐多、薩摩半島と大隅半島で音声、単語に違いはあるが島口や他の方言から見ると鹿児島弁としてまとまりがあると感じるのではないかと思う。違いよりも共通点に目を向けたい。鹿児島市の城山町にある「黎明館」には、①薩摩半島・穎娃青戸、②大隅半島・志布志安楽、③種子島・野間、④加計呂麻島・芝の 4 種類の音声展示があり、対話場面を見ながら聴くことができる。島唄もアサバナ(名瀬)、六調(笠利)、を聴くことができる。30 年くらい前の録音である。貴重な記録である。聴いてみると字幕で意味は分かるが、音声的には、外国語だと感じた。日常使わないと方言が遠のいていく。言葉というのは、習慣であり生活であることを痛感する。学校ではまず、島口カレンダーの取組を充実させていきたい。

2月・3月の主な行事予定

2/ 2(金) 餅つき・立志式
 2/11(日) 建国記念の日
 2/12(月) 振替休日
 2/14(水) 学年末テスト(~16)
 「ノーマディアウイーク」
 2/17(土) 方言の日 青少年育成の日
 2/18(日) 家庭の日 市民清掃の日
 2/23(金) 学級 PTA, PTA 役員会
 2/25(日) 市まなび・福祉フェスタ
 2/27(火) 住用小中活性化委員会

3/ 2(金) 第 3 回学校評議員会
 3/ 6(火) 公立高等学校入学者選抜
 学力検査(~7)
 3/ 9(金) 球技大会
 3/13(火) 卒業式
 3/14(水) 公立高校合格発表
 3/16(金) 田植え(予定)
 3/18(日) 家庭の日 市民清掃の日
 3/21(水) 春分の日
 3/23(金) 修了式
 3/24(土) 小中合同 P T A 送別会
 3/27(火) 離任式



食育授業・給食試食会を実施

校内給食週間の1月26日(金)に、栄養教諭の藤原教諭を講師に迎えて「朝食の大切さ」の授業をしていただきました。朝食を食べることは、元気に活動するエネルギーになり、健康は食べることから作られるとも言えます。今回学習したことを参考に、「朝食を食べる」ことへの振り返りも必要ですね。給食試食会は、これまでお世話になった方々をお招きして、生徒たちとともに給食を一緒に食べながら、交流を深めての会食となりました。学校行事の様々なことに御協力いただき、感謝しています。今後も生徒たちのためによりしくお願いします。



命の尊さを考える

先日、鹿児島市で少年が起こしたニュースは、私たちに大きな衝撃を与えました。命の大切さを理解できていれば、起こりえない事件なのではと思いました。住用中学校では、道徳の授業を通してこれまで「生命」について考える授業を行ってきました。今回の事件を受けて、全校集会で吉松教諭が「命の尊さ」について話をしました。自分の命が10代前



知のクラスマッチ

毎年1月に生徒会が学力クラスマッチを企画しています。学級対抗ではよく球技等が多いので、知力を競いあうことはとても珍しいことです。そして、結果は、

- ・計算の部 2年生
 - ・漢字の部 3年生
 - ・英単語の部 3年生
- 3年生が2冠達成です。さすがです。楽しみながら勉強もいいですね。



の祖先から受け継いだとすると、なんと約1000人の祖先から、命を受け継いだこととなります。まさに、命のリレーといえます。自分の命の大切さを再度理解し、大事にしていきたいです。そして、他人の命の大事さも同様に考えていける心の優しさを持ちたいものです。地域で子どもたちが安全に、且つ、みんなが安心して暮らせるように、これからも学校、地域の情報共有は大切になってまいります。不審者等の情報がありましたら、学校又は住用駐在所へ連絡ください。よろしくお願いします。

情報モラル教室と家庭教育学級にて



国際理解教育授業



元青年海外協力隊の坂本渉さんに「見える・学べる・世界の国々」のテーマで講話をしていただきました。御自身のラオスでの経験をもと

に、海外での面白い経験談など大変興味深い話でした。将来、外国で活躍する生徒が現れるかもしれません。

NPO法人ネットポリス鹿児島の戸高成人さんを講師に迎え、「情報モラル教室」を行いました。翌日は、保護者向けに「ここが大切、情報モラルの指導」のテーマで講話をしていただきました。現代の若い世代にはSNSは大変身近で大きな影響を受ける存在となっています。今後も子どもたちが、トラブルや事件にまきこまれないように、私たち大人が見守り、使い方の手本を示していく必要性があることを考えさせられる機会となりました。